

## 第2回中野市まちづくり基本計画住民説明会 ≪質疑応答の内容≫

- 都市計画マスタープランにおける地域別構想の地区割「5地区」において、第2回中野市まちづくり基本計画住民説明会を実施しました。
- 住民説明会では、まちづくり基本計画の概要、都市計画マスタープラン編（素案）、立地適正化計画編（素案）に関する説明および質疑応答を行いました。

### 1. 南部地域

【日時】令和4年10月28日(金) 18:30~19:30

【場所】中央公民館 3階 講堂

【出席者数】4名

番号	質 問	回 答
1-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料1、3ページのコミュニティ拠点の位置づけについて、公民館や学校周辺で機能の維持を図るという記載があるが、配布資料2の土地利用の整備方針の中では、延徳駅周辺を拠点として位置づけるという記載があり、この辺りの関係性がよくわからない。</li> <li>・現状のコミュニティは区単位で動いており、現状を踏まえると、延徳駅周辺を拠点とすることに違和感があり、具体的に機能の集約が可能なのか疑問がある。</li> <li>・考え方はわかるが、具体的な実行計画がないと絵に描いた餅になってしまう。まちづくり基本計画を策定した後に、具体的な実行計画をつくっていただくよう、要望したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延徳駅周辺の拠点の位置づけについては、ご意見を踏まえて表記を検討します。</li> <li>・コミュニティ拠点については、“公民館や学校などの公共施設周辺で、地域で安心して暮らし続けられるための機能の維持を図る”という基本的な考え方を計画で位置づけています。</li> <li>・公共施設に関する具体的な計画として、中野市公共施設等総合管理計画、個別施設計画という計画があり、その中で機能の複合化の方針などを定めており、この方針とも整合を図りながら、具体的な実行計画を検討していくこととなります。</li> <li>・今回のまちづくり基本計画は基本的な方針を示す計画で、現時点で具体的な実行計画はありませんが、今後、上位関連計画の方針も踏まえながら検討してまいります。</li> </ul>

番号	質問	回答
1-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中野市の市街地について、どのように活性化していくのか、人が賑わうまちにしていきたいのか、市民全体にしっかり周知していただきたい。</li> <li>・現在の市街地では車が通っているだけで、歩行者はほとんどいないので、これをどのように活性化していくのかということは関心が高いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、駅前でホテルが建設中であり、市民会館のリノベーションも進んでいます。中心市街地の活性化については、行政だけでは難しい部分もありますが、市民会館など拠点となる施設の整備も進んでいるため、点と点を結び、市街地の中を回遊できるような仕組みづくりを検討してまいります。</li> </ul>
1-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料1、2ページの都市基盤の課題の中に、“公園の整備・拡充”という記載があるが、これは何を想定しているのか。既存の公園を拡大して整備するということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に公園と呼ばれるものがいくつかあり、都市計画課では「都市公園」と呼ばれる公園を管理しています。</li> <li>・現時点で新たに公園を整備するといった予定はありませんが、既存の公園の中でも遊具が老朽化しているところもあるため、住民の皆さんが利用しやすい公園になるよう対応を検討してまいります。</li> </ul>

## 2. 豊田地域

【日時】令和4年10月31日(月) 18:30~19:40

【場所】豊田文化センター

【出席者数】10名

番号	質問	回答
2-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の住む集落でも人口減少が進んでいるが、人口減少対策としての具体的な取組内容はどこに記載されているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画で「まちなか居住促進エリア(居住誘導区域)」、「緑住共生エリア」、「田園集落エリア」を設定し、居住の維持や誘導を図るための取組を誘導施策として整理しています。</li> <li>人口減少対策については最上位計画である総合計画の方針に即して、全庁的に取り組んでまいります。</li> </ul>
2-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口が減っていくにもかかわらず、新しく家を建てる方もいる。人口が更に減っても、新しく家を建てた方はそこに住み続けるので、道路などのインフラ整備に必要となる費用は変わらないと思う。</li> <li>なるべく住宅地を集約していくといった考え方はできないのか。豊田地域で新しく家を建てる場合は、バラバラのところで建てるように、住宅の誘導が必要であると思う。そういった大きな方針も含めて計画に反映してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘の内容はコンパクトシティの考え方につながるものであり、計画の中にもその方針を反映しています。</li> <li>具体的には、都市計画マスタープランの将来都市構造図の中で「コミュニティ拠点」を設定しており、この拠点は、行政機能や金融機能など暮らしを支える施設が集積する場所です。人が点在して住むと行政コストが上がってしまいますが、新しく家を建てる場合、コミュニティ拠点周辺でなるべく建ててもらえると、効率化にもつながります。</li> <li>ただし、まちづくり基本計画で目指すコンパクトシティ+ネットワークのまちづくりは、短期的に1か所に集約するという考え方ではなく、ゆるやかに誘導を図っていく考え方となります。</li> </ul>
2-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊田地域にはJRの駅が2つあるため、これをもっと活かしたまちづくりをしていくべきだと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域別構想(素案)の中で、JRの駅に関する方針がないため、記載していく方向で検討してまいります。</li> </ul>
2-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域別構想の「地域の基本方針」の中で、“小さな拠点を中心として…”という記載があるが、小さな拠点というのは具体的に何を想定しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊田地域では豊田文化センター周辺に暮らしを支える様々な機能が集積しており、この場所を中心として、まちづくりを進めていくという考え方となります。</li> </ul>

番号	質問	回答
2-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域別構想の「土地利用」の方針の中で、“豊田飯山インター周辺について適正な土地利用を促進する”と記載されているが、具体的にはどのような取組を想定しているのか。</li> <li>・「道路・交通」の方針の中で、“歩道未整備区間の整備”と記載されているが、旧豊井小学校周辺は歩道や路側帯がない道路があり、そこを子どもたちが歩いている。子どもの安全を大事にして、通学路となっている道路については、早急に改善してほしい。</li> <li>・市役所周辺を市の中心部として位置づけているが、豊田地域も切り捨てられないように、大事にしてもらえよう都市計画をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田飯山インター周辺については都市計画区域外となっており、現時点では土地利用に関する規制などがほとんどないため、土地利用規制の必要性がある場所として整備方針の中で位置づけています。まちづくり基本計画では、基本的な方針を位置づけ、具体的な方策は今後検討していく予定です。</li> <li>・歩道整備の関係については、ご要望として承ります。</li> </ul>
2-6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域別構想の「都市防災」の方針の中で、“建築物の耐震化及び不燃化の促進”と記載されているが、上今井公民館は耐震化の改修はまだ行っていない。耐震の診断は数年前に行っているが、耐震化の改修にかかる補助などはあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修工費費用の一部を補助する制度があります。都市計画課建築住宅係が窓口となるため、詳細についてはご相談ください。</li> </ul>

### 3. 市街地及びその周辺地域

【日時】令和4年11月1日(火) 18:30~19:50

【場所】中央公民館 3階 講堂

【出席者数】6名

番号	質問	回答
3-1	<ul style="list-style-type: none"><li>・区から要望が出されていると思うが、歩道が途中で途切れている道路があり、特に除雪されると歩くスペースがなく、危険である。高齢化が進んで行く中で不安を感じており、まちなかの歩道の確保は早急に対応していただきたい。</li><li>・中心市街地に浸水想定区域が指定されているが、避難所にこの地域の住民が収容しきれぬのか。また、市役所の非常電源は水害に耐えられるのか。</li><li>・市街地の空洞化が進んでおり、移住・定住に関するPRも行っていると思うが、移住・定住に関する相談窓口がわかりづらいので改善してほしい。</li><li>・市街地周辺でも獣害が増えており、対策をお願いしたい。</li><li>・市街地周辺で荒廃農地が増えており、農業振興施策についても対応をお願いしたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・歩道の関係については、現地を確認したうえで、対応を検討してまいります。</li><li>・避難所の収容人数、市役所の非常電源の関係については、所管課に確認します。</li><li>・移住・定住に関する相談窓口、獣害、農業振興施策の関係については、ご要望として承ります。</li></ul>

番号	質問	回答
3-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかには食料品を扱う店が少なく、高齢化が進む中で、買い物難民への対応に力を入れてほしい。</li> <li>・計画の見直しについて、都市計画マスタープランが10年、立地適正化計画が5年ごとに見直しを行うとのことだが、公共交通は今後10年の中でも駅の廃止など大きな変化があるかもしれないので、臨機応変に対応できるような体制もつくってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物難民の関係について、まずは現在運行している公共交通の利用促進を図り、車がない方でも暮らしに必要な施設にアクセスできる環境の維持を図っていきたいと考えています。それとあわせて、まちなかの街路整備などを計画的に進めるとともに、居住の誘導を図り、市街地の人口密度を維持することで、民間の店舗の立地にも繋がっていくと考えています。</li> <li>・計画の見直しについて、都市計画マスタープランは10年、立地適正化計画は5年ごとが基本となりますが、見直しの具体的な時期は社会情勢の変化なども踏まえながら検討してまいります。</li> <li>・また、公共交通は重要な要素となるため、鉄道駅の利活用に関する方針も計画に反映し、地域公共交通計画などの関連計画と整合を図りながら、公共交通の維持や利用促進に向けた施策を推進してまいります。</li> </ul>
3-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来都市構造の中でゾーンが設定されているが、既存の状況にただ色を塗っているだけで、目新しさがない。各ゾーンの中でいかに人が集まって活性化を図っていくのかを考える必要があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画マスタープランの現行計画は策定から約13年が経過していますが、これまでの歴史的な成り立ちも踏まえて、将来都市構造の見直しにあたり、都市の骨格を大きく変えるような変更は行っていません。都市の骨格はこれまでの考え方を踏襲しつつ、用途地域や都市計画道路など個別の都市計画について、地域の実情や課題を踏まえて、見直しを行っていく予定です。</li> </ul>

## 4. 高社地域

【日時】令和4年11月2日(水) 18:30~20:15

【場所】北部公民館 1階 会議室1・2

【出席者数】12名

番号	質問	回答
4-1	・県道中野飯山線について、現在工事が進んでいて、年内には開通すると聞いているが、開通する詳しい日時がわかれば教えてほしい。	・竣工は年内12月中。詳細は確認します。
4-2	・旧科野小学校の跡地について、地域別構想の「土地利用」の方針の中の“学校跡地の効率的な活用促進”に該当すると思うが、具体的にどのように活用されるのか教えてほしい。	・旧科野小学校については、一般の事業者に公募を行い、民間企業に売却しています。 ・現在は工場として利用されています。
4-3	・平成橋から折橋までの堤防について、自転車専用道路にするといった活用はできないのか。	・堤防は県の管理となっていますが、越水した場合の障害物にならないように、ガードレールなどの構造物をつくることができません。自転車専用道路として整備するのは難しいと思われます。
4-4	・公共交通について、ふれあいバスなどが運行されているが、市の財政的な負担も相当かかっていると思う。それに対して、高齢化が進む中、免許を返納した後の買い物難民の問題がある。買い物難民に対する対応はどのように考えているのか。	・中核的な都市機能が集積している中心拠点周辺と各地域を結ぶ公共交通を維持していくことで、買い物難民などの対応を図っていきたいと考えています。 ・ただし、公共交通は利用者が少なければ維持が難しくなってくるため、利用促進に向けた取組もあわせて進めてまいります。
4-5	・公共交通については、バス停が利用しやすい位置に変更されるなど、便利にはなっている。改善はされているのに利用者が少ないのは何が問題なのか。その辺りのデータをしっかり把握したうえで、対策を行わないと絵に描いた餅になってしまう。	・「中野市・山ノ内町地域公共交通計画（令和4年8月）」の策定にあたり、公共交通に関する住民アンケート調査を実施しており、公共交通を利用しない理由として「バス以外の移動手段があるから」が約6割を占めており、一番多くなっています。車をお持ちの方は基本的に自家用車で移動している状況ですが、今後、高齢化が進む中で、免許返納者が増えてきた場合、公共交通に対するニーズも高まってくると思われるので、利用状況も踏まえながら、対応を検討してまいります。

番号	質問	回答
4-6	<p>・自分自身は車を持っていないので、公共交通しか使えない立場にあり、公共交通がなくなると歩くしかないため、困ってしまう。バスの利用者は病院や買い物で利用する方が多いと思うが、帰りの待ち時間が長くて困った経験がある。ただ、料金の値下げが行われるなど改善はされているので、車を利用できる人でもなるべく公共交通を利用してもらい、路線を維持していただきたいと思う。</p>	<p>・バスの待ち時間の関係は、利用実態なども踏まえながら改善を行っていますが、なかなか一人一人にあわせることは難しい状況です。公共交通を維持していくうえでも、利用者を増やしていくことが重要であるため、利用促進に向けた取組を進めてまいります。</p>
4-7	<p>・冬期に越橋の親水公園が雪捨て場になっているが、そこへ向かう生活道路が雪により幅員が狭くなっている。平成橋から折橋の間に雪捨て場を設けることはできないか。</p>	<p>・雪捨て場として利用するためには河川法に基づく許可申請を行う必要があり、また許可がでない可能性が高いと思われます。地区としての強い要望があれば、県の方にも伝えてまいります。</p>
4-8	<p>・居住の維持・誘導を図る区域について、災害リスクの高い区域を除外するという話があったが、現在もそこに住んでいる住民がいる。家の建て替えの際などはどうすればよいのか。</p>	<p>・近年、頻発・激甚化する自然災害を受けて、災害リスクの高い区域に新たな宅地開発などが進むことがないよう抑制を図るという考え方であり、既存の住宅の建て替えを規制するものではありません。誤解が生じないように、表現は修正します。</p>
4-9	<p>・長野電鉄木島線の廃止された後の線路について、現在はほとんど放置されているが、何か活用の見通しなどはあるのか。</p>	<p>・現時点では、市としての活用の見通しなどはありません。所管課とも情報共有を図りながら、対応について検討してまいります。</p>



## 5. 中野平地域

【日時】令和4年11月4日(金) 18:30~20:15

【場所】西部文化センター 1階 会議室1・2・視聴覚室

【出席者数】11名

番号	質問	回答
5-1	<p>・将来都市構造で位置づけられた「中心拠点」について、道路や歩道の整備などハード面の取組みだけでなく、中心市街地の活性化に向けたソフト面の施策をもっと充実してほしい。</p>	<p>・ご要望として承ります。</p>
5-2	<p>・今回の素案では、“中心部と各地域それぞれを良くしていきましょう”という方針になっており、それだといくらお金があっても足りない。どこを節約し、どこに力を入れるのかを明確にしないと、将来的には財政破綻が起きてしまう。現在のまちなかは市の中心だとは思っていないが、計画では中心拠点として今後も整備していく方針になっており、違和感がある。</p>	<p>・将来都市構造の中で、中心拠点と各地域に設定しているコミュニティ拠点を公共交通で結ぶ「コンパクトシティ+ネットワーク」の考え方を反映しています。これは各地域でもメリハリのある土地利用を図り、コンパクト化を進めていくことで、持続可能な地域をつくっていかうという考え方です。</p> <p>・人口減少が進行する中で、全ての地域のインフラを維持していくことは困難であり、その一方で、歴史的な成り立ちを踏まえ、各地域のコミュニティの維持を図っていくことも重要であるため、中長期的にゆるやかな誘導を図りながら、コンパクト化を進めていく考え方を位置づけています。</p>
5-3	<p>・「スポーツ・レクリ・交流拠点」として設定されている北信濃ふるさとの森文化公園について、拠点として具体的にどのような整備を想定しているのか。</p>	<p>・北信濃ふるさとの森文化公園については、現時点で具体的な整備計画などはありません。指定管理者制度により、公園の管理等を事業者へ委託しており、コロナ禍の中で集客が落ち込んでいる部分もあるが、指定管理者とも相談しながら、集客アップに向けた取組を検討してまいります。</p>

番号	質問	回答
5-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 獣害について、山村や農村集落だけの問題ではなく、まちなかでも問題になっている。将来都市構造で設定されている「里山ゾーン」の中で、なんとか食い止められるように、獣害対策を実施してくことについて、計画に反映してほしい。</li> <li>・ 最近、北信濃ふるさとの森文化公園のところに登っていくと、産廃業者が回収した鉄くずなどが山になっており、景観上もあまりよくないと思う。規制まではできないかもしれないが、景観の維持を図っていくために、対策をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 獣害対策については、ご要望として承ります。</li> <li>・ 景観については、今年から景観計画の策定に向けた検討を進めており、あと2～3年ほどかかる予定ですが、景観行政団体への移行手続きを進めています。市独自の景観計画を策定することで、地域固有の景観を維持していくための取組についても進めていきたいと考えています。</li> </ul>
5-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在住んでいる地域は浸水想定区域に指定されており、この地域は地盤が軟弱で、地盤沈下のおそれもある。今回の計画では、地盤沈下への対応は含まれているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちづくり基本計画の中では地盤沈下に対する方針は記載していません。都市計画に関する基本的な方針として、災害リスクの高い地域では、新たな宅地化を抑制していくという基本的な考え方を位置づけています。</li> </ul>
5-6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浸水想定区域の中には農地が多く含まれており、今後、そういったところは荒廃農地になる可能性もある。それらの対応の方針についても、計画に反映してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒廃農地への対応を図っていくという基本的な考え方については計画に反映しています。具体的な施策については、所管課と情報共有を図りながら、検討してまいります。</li> </ul>
5-7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な施策の内容を説明していただかないと、これまでと何が変わるのかがよく分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちづくり基本計画は、都市計画に関する基本的な方針を定める計画で、具体的な施策については、計画の方針に基づいて検討していくこととなります。</li> <li>・ 住民説明会でいただいた個別の施策に関するご要望などについては、所管課とも共有し、実施計画への反映など、対応を検討してまいります。</li> </ul>
5-8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 延徳田んぼ周辺の浸水想定区域は、篠井川が原因となっている。遊水地をつくるなど、篠井川の治水対策を実施し、浸水しない土地を整備して、そこに住宅を建てられるような対策が必要であると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浸水しない土地を整備するというのは莫大な費用がかかるため、現実的には難しい状況です。</li> <li>・ 災害リスクの高い地域で新たな宅地化を抑制しつつ、災害リスクの低い地域などで防災・減災対策を講じながら、人口減少対策等を進めていきたいと考えています。</li> </ul>